

東京都計量器コンサルタント協会

設立の経緯

「計量器の販売は免許制度から許可、登録と規制緩和が進み、われわれは計量器専業販売者としてこのような時代の変遷に正しく対処するため、一層専門的知識と技能の向上を図りユーザーに対する適切なコンサルティングという社会的あるいは職業的使命を果たさなければならない。」

このような認識のもとに東京都計量器販売者協会の幹部が構想を練り、全国計量器販売事業者連合会と(社)日本計量協会(現(社)日本計量振興協会)に上申し、昭和47年の秋に計量器コンサルタント制度が発足した。

(社)東京都計量協会は昭和47年10月に全国のトップをきって第1回計量器コンサルタント研修会を企画、開催した。

この新しい事業の成果を高め全国に波及させるため、カリキュラムは計量器コンサルタント研修実施要領に従い、講師は斯界の第一人者と言われた方にそれぞれお願いした。

受講者は定員を大幅に越える66名で昼間の営業活動を終えて会場の東京都計量検定所会議室に集まり、午後6時から9時まで熱心に聴講し、全課程を修了した。

同年12月に終了式を開催し、(社)東京都計量協会長から終了証書が授与され、(社)日本計量協会長より計量器コンサルタント資格証明書が一人一人に手渡されて、今後の活躍を期待する旨の祝辞が寄せられた。

こうした雰囲気のもとで有志より心強い発言があり、今後の抱負について活発な意見が交換され、東京都計量器コンサルタント協会の設立が合意された。

この合意を得て昭和48年2月7日、日本計量会館に第1期生45名が集合して東京都計量器コンサルタント協会の設立が決議され、会則の制定、役員を選任、初年度事業計画及び収支予算等が審議決定され、ここに「東京都計量器コンサルタント協会」が産声を上げたのである。

初年度の役員は次の方々であった。

会 長	小川直久((株)協立商会)	
副会長	座間勝美(三興産業(株))	川合保之(英工計器(株))
理 事	大木史郎(大木度量衡店)	岩下貞治(岩下度量衡(株))
	野村光作((株)野村製作所)	出野 貢((株)森 貞)
	鎌田光次(鎌 田 商 会)	
監 事	原 敏夫((株)原 計器社)	渡辺藤平(渡辺度量衡(株))